

第17回



京都市ジュニアオーケストラ

The 17th Concert of the Kyoto Junior Orchestra

コンサート

2022 **1/30** 日

14:00開演 (13:00開場)

京都コンサートホール・大ホール

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

Sunday, January 30, 2022 / 14:00

Kyoto Concert Hall (Main Hall)

サン・サーンス：歌劇《サムソンとデリラ》作品47から〈バッカナール〉

Saint-Saëns: Samson et Dalila, opera, op.47 - Bacchanale

チャイコフスキー：幻想序曲「ロメオとジュリエット」

Tchaikovsky: Romeo and Juliet, overture-fantasy

ラフマニノフ：交響曲 第2番 ホ短調 作品27

Rachmaninov: Symphony No.2 in E minor, op.27

指揮 **広上 淳一**

(京都市ジュニアオーケストラ・スーパーヴァイザー)

Conductor: Junichi Hirokami

(Supervisor of the Kyoto Junior Orchestra)

©Masaaki Tomitori

スーパーヴァイザー 広上淳一との集大成。
渾身のプログラムに挑む！



指導 京都市交響楽団メンバー

Trainers: Members of the City of Kyoto Symphony Orchestra

合奏指導 大谷 麻由美・岡本 陸・小林 雄太

Ensemble Trainers: Mayumi Otani, Riku Okamoto, Yuta Kobayashi

2021年10月17日 日 から発売

入場料(全席指定) 一般 1,000円 22歳以下 500円

◎チケットご予約

・京都コンサートホール (075)711-3231

10:00 ~ 17:00 第1・3月曜休館(休日の場合は翌平日)

・ロームシアター京都 (075)746-3201

10:00 ~ 19:00 年中無休(臨時休館日を除く)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため短縮営業する場合あり

・24時間オンラインチケット購入 <https://www.e-get.jp/kyoto/pt/>

◆障がいのある方ご本人及び介助の方1名に限り1割引いたします。

京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱いします。(窓口で手帳等の証明書をご提示ください。)

◎お問い合わせ: 京都コンサートホール (075)711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>

京都市交響楽団 (075)222-0347 <https://www.kyoto-symphony.jp/>

◎託児室のご案内: 未就学のお子様は会場にお入りいただけません。託児室(要予約/1歳以上/定員有/有料1,000円)をご利用いただけます。1月23日(日)までに京都コンサートホール事務所 (075-711-2980) までご予約ください。

◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。

◎新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、開催方針が変更となる可能性がございます。

最新の情報は京都コンサートホールホームページをご覧ください。

©Tatsuo Sasaki

主催: 京都コンサートホール(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

協賛: 京都商工会議所女性会、京都洛東ライオンズクラブ

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション

公益財団法人 青山音楽財団

後援: 京都市教育委員会



第17回 京都市ジュニアオーケストラコンサート

The 17th Concert of the Kyoto Junior Orchestra

10歳から22歳までの青少年で構成される“京都市ジュニアオーケストラ”。17回目となるコンサートでは、14年の長きにわたりスーパーヴァイザーを務めた指揮・広上淳一との集大成を披露します。前半は、サン・サーンズによる「サムソンとデリラ」から、異国情緒漂う勝利の踊り「バックナール」、若い恋人達の悲劇をドラマチックに描くチャイコフスキーの幻想序曲「ロメオとジュリエット」。物語を題材とした2作品を取り上げます。続く後半は、広上氏が得意とする作品のひとつ、ラフマニノフの「交響曲第2番」。様々な楽器の見せ場が続く難曲に、満を持して挑戦します。高い演奏技術を求められるプログラムを、若さと熱意溢れる演奏でお届けいたします。どうぞご期待ください。

指揮 広上 淳一（京都市ジュニアオーケストラ・スーパーヴァイザー）

Conductor : Junichi Hirokami (Supervisor of the Kyoto Junior Orchestra)



©伊藤栄々子

東京生まれ。東京音楽大学指揮科に学ぶ。1984年、26歳で第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクールに優勝。以来、フランス国立管、ベルリン放響、コンセルトヘボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響などメジャー・オーケストラへの客演を展開。これまでノールショピング響、リンブルク響、ロイヤル・リヴァプール・フィル、コロバス響のポストを歴任。近年では、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管、ミラノ・ヴェルディ響、スイス・イタリア管、モンテカルロ・フィル、バルセロナ響、サンクトペテルブルク・フィル、ボルティモア響、サン・パウロ響、ニュージーランド響等へ客演。国内では全国各地のオーケストラはもとより、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管にもたびたび招かれ絶賛を博している。オペラの分野でもシドニー歌劇場へのデビュー以来、数々のプロダクションを成功に導いている。2013年「第32回藤堂音楽賞」、2015年京響とともに「第46回サントリー音楽賞」、2016年「第36回有馬賞」を受賞。2019年度「京都市文化功労者」。2020年「令和2年度京都新聞大賞」受賞。東京音楽大学教授。京都市立芸術大学客員教授。2008年4月から京都市交響楽団第12代常任指揮者、及び京都市ジュニアオーケストラ・スーパーヴァイザー、2014年4月からミュージック・アドヴァイザーも兼務。2017年4月から札幌交響楽団友情客演指揮者、2021年9月からは日本フィルハーモニー交響楽団フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）も務める。2020年4月から京都市交響楽団第13代常任指揮者兼芸術顧問、及び京都コンサートホール館長に就任。

京都市ジュニアオーケストラ Kyoto Junior Orchestra



©Tatsuo Sasaki

青少年のオーケストラ活動の支援と心豊かになる環境づくりを目的として、京響創立50周年、京都コンサートホール開館10周年を機に2005年に設立。2006年3月「京都市ジュニアオーケストラ デビューコンサート」を開催。10歳～22歳までの京都市在住・通学の青少年を対象に、オーディションにより選抜された約110名で結成される。これまでに大友直人、井上道義、広上淳一などの指揮のもと、16回の定期公演の他、2008年「ミュージック・フリー」、2009年「京響みんなのコンサート」、2010年「オーケストラ・ディスカバー」、2011年「第26回国民文化祭2011・京都 ジュニアオーケストラの祭典」、2013年「京響みんなのコンサート」、2013年及び2014年「京都ミュージックプロムナード」、2014年「京都おもてなし音絵巻2014」、2015年「ラ・フォル・ジュルネ金沢2015」、2016年「トロンハイム・ジュニア・ソロイズツ “フレンドシップコンサート”」「京都岡崎音楽祭 OKAZAKI LOOPS」、2019年には「近江の春 びわ湖クラシック音楽祭」へ出演。また「ミュージック・サマー・キャンプ」ではライブツィヒ ユース オーケストラと合同演奏を行った。2008年度からは京都市交響楽団第13代常任指揮者兼芸術顧問・広上淳一をスーパーヴァイザーに迎えて京響メンバーの真摯な指導のもと成長を続け、その演奏レベルは高く評価されている。
(合奏指導：大谷麻由美、岡本陸、小林雄太)

京都市ジュニアオーケストラ2022年度団員募集！

詳しくはHP（<https://www.kyotoconcerthall.org/juniororchestra/>）などで2022年2月頃に発表します！



ご来場のお客様へ

新型コロナウイルス
感染拡大防止に関しての
ご理解とご協力をお願い

以下の症状があるお客様はご来場をお控えください ●来場前に検温し、平熱と比べて高い発熱がある方、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、眼の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐の症状のある方。 ●新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある方、過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある方。 ●その他、体調に不安がある方（高齢者や既往歴のある方等、重症化リスクの高い方は、医師の判断や関係機関の情報を確認の上、慎重なご判断をお願いいたします）。
ご来場される際は以下にご協力ください ●マスクのご着用および咳エチケットにご協力をお願いいたします。マスクを着用されていないお客様はご入場をお断りする場合がございます。 ●ご自身の顔（目、鼻、口など）を触る行為にお気を付けいただくとともに、頻繁に手指の消毒・手洗いをお願いいたします。 ●ホール内でのご歓談はお控えください。
公演当日のホールにおける感染拡大防止・予防への対応 ●ホール入口では非接触体温計を用いて、すべてのご来館者様の検温を実施いたします。 ●ホール内の換気をより強化し、外気取入れによる換気を行います。 ●ホール内各所にアルコール消毒液を設置するとともに、手すりなどのホール内消毒を強化いたします。 ●演奏者の間隔、お客様と演奏者との間隔は十分な距離を確保いたします。 ●プログラム等の手渡しでの配布はいたしません。ご自身でお取りいただきますようお願いいたします。 ●出演者・関係者・スタッフは自宅での検温やマスクの着用、手指消毒を徹底します。体調のすぐれないスタッフがいた場合は、そのスタッフが当日の運営を行うことはございません。 ●スタッフも、お客様へのお声がけをできる限り控えていただくことを、あらかじめご了承ください。